

2020年4月7日

日本銀行大阪支店

関西金融経済動向

【全体感】

関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、弱い動きとなっている。

輸出は、弱めの動きに拡がりが見られている。設備投資は、増加している。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から弱い動きとなっている。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。公共投資は、緩やかに増加している。こうした中で、生産は、弱めの動きに拡がりが見られている。雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得も緩やかに増加しているものの、足もと新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が見られている。この間、企業の業況感は、悪化している。

先行きの景気を巡るリスク要因としては、新型コロナウイルス感染症の動向や国際金融市場の動向などが、当地の企業や家計のマインドに与える影響などが挙げられる。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。

輸出は、弱めの動きに拡がりが見られている。

設備投資は、増加している。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から弱い動きとなっている。

スーパー等販売額は、足もと増加している。家電販売額は、足もと減少している。乗用車販売は、減少している。百貨店販売額、旅行取扱額、外食売上高は、大幅に減少している。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、弱めの動きに拡がりが見られている。

内訳をみると、電子部品・デバイスや鉄鋼・非鉄金属に加え、自動車関連等が弱めの動きとなっている。

3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得も緩やかに増加しているものの、足もと新型コロナウイルス感染症の拡大の影響がみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台半ばとなっている。

5. 企業倒産

企業倒産は、総じて低水準で推移している。

6. 金融情勢

預金残高は、個人預金や法人預金の増加を背景に、前年比2%程度のプラスとなっている。

貸出残高は、企業向けや住宅ローンの増加などを背景に、前年比2%台後半のプラスとなっている。

預金金利は、低水準で推移している。

貸出金利は、低下している。

以 上